

## 「池田小学校の下門猿の子踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

指宿市立池田小学校

### 2 学年・人数

小学1年（5人）、2年（3人）、3年（4人）、4年（1人）、5年（7人）、6年（8人）

### 3 場所・日時

#### (1) 練習の日時・場所

場所：池田小学校体育館及び校庭

日時：5～12月実施、2月は予定【中止】

5月8日(10:25～11:10)、6月12日(9:20～10:05)、6月25日(14:10～14:55)、  
7月10日(9:20～10:05)、10月9日(9:20～10:05)、12月11日(10:25～11:10)、  
2月12日(9:20～10:05)、2月15日(14:10～14:55)、2月22日(14:10～14:55)

#### (2) 発表の日時・場所（令和3年度）

- ・ 令和3年10月10日(13:00～13:25) ・ 西原商会アリーナ（鹿児島アリーナ）【中止】
- ・ 令和4年2月25日(15:10～15:25) ・ 池田小学校 体育館【中止】

### 4 伝承・活用に取り組んでいる伝統芸能、伝統行事や史跡について

#### (1) 名称

下門猿の子踊り（しもかどさるのこおどり）

#### (2) 時代

延享元年2月21日から延享5年7月12日の間(1744年～1748年)のいずれかの年に始まったと伝えられている。

#### (3) 特徴

「山猿共の里下りの巻」で真っ赤な頭巾、上衣、ズボンの猿に扮した6歳から14歳までの子どもが20人ほどでいろいろ芸をする。猿使いが2人、唄はなく鳴物は太鼓・笛・鉦、今和泉島津忠郷が日向から猿使いを招いて、春秋2回領民の労をねぎらいために踊らせたと伝えられているが、猿は山の神、田の神の使いと考えられていて、やはり農耕祝福行事からはじまったものであろう。

### 5 保存会や地域との連携の具体性

- ・ 指宿市池田小学校区下門地区に「下門猿の子踊り保存会」が組織されている。
- ・ NHKホールで踊って以降、集落内の児童減のために活動を休止している。

- ・平成 26 年度当初から，下門公民館長から伝統芸能継承についての相談を受け，10 月時点で，保存会長に練習回数等の相談を校長が行い，P T A 役員会で提案した。提案を受け，「イッシーまつり（学習発表会）」での披露をめざし，10 回の練習をする。
- ・平成 30 年度から，P T A 及び地域の了承を得て，総合的な学習の時間・生活科における『「いぶ好き」ふるさと学』の一環として通常の教育活動の中で，全児童が学ぶようになった。練習においては，保存会の方々の全面的な協力を受けている。

## 6 活用の取組で工夫した点

- ・下門地域の子どもに限定しなかった点。
- ・P T A 会員へ投げかけての活動とし，学校は保存会との連絡調整を図った点。
- ・P T A 会員が伝統芸能保存に対しての理解が高かった点。
- ・学校の教育活動に取り入れ，全児童で行っている点。
- ・保存会を中心として，下門集落の方々の全面的な協力が得られた点。

## 7 取組の様子（研究発表・創作劇等）



練習の風景



学習発表での披露

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【保存会】

- ・復活を強く願っていたので，学校側の協力を得て取り組むことができよかったです。
- ・短い練習時間の中で，子どもたちはしっかりと踊ってくれている。

### 【児童生徒】

- ・自分たちの踊りに校区の方々が大変喜んでくださっている。
- ・難しいと思っていたけど，練習を重ねていくとできるようになってうれしい。

### 【教員】

- ・猿の子踊りの動きから，子どもたちの体力面の課題（腕力）を見出すことができている。
- ・子どもたちが短期間の練習の中でよく踊れたので感心している。
- ・発表予定が，感染症予防のため中止になることが多く，大変，残念である。